

共に生きる

八幡小学校では、福祉教育の目標を「思いやりの心を持ち、力を合わせて仲間や地域社会と共に生きる子の育成」とし、全学年で体験を通じた活動を計画し取り組んでいます。

全校で取り組む

「まごころ弁当」に添える
メッセージ

八幡地区「なのはな会」の方々が作ってみえる「まごころ弁当」。その弁当に添えるメッセージカード作りは全校で取り組んでいます。子供たちは、自分の描いたメッセージカードがどなたに届くか知りません。しかし、少しでも八幡地区の皆さん力になればと、まごころを込めて、丁寧にカードを作成し、人を思いやる心の大切さを学んでいます。

五年生 総合「米作り体験」

五年生の総合的な学習の時間の米作り体験では、地域の方とふれあいながら活動を行ってきました。米作りの大変さを知ることで、



▲稲刈り

食べ物への感謝の心やボランティアで米作りを支えてくださった方への感謝の気持ちをもって取り組んできました。さらに収穫された米の一部は、ボランティア団体「なのはな会」に贈っています。自分たちの育てた米が、地域に住むひとり暮らしの高齢者の皆さんのもとに「まごころ弁当」として届くので、おいしい米に育つよう願って田植えや稲刈りを行っています。

池田町立 八幡小学校 福祉活動

～福祉協力校の活動紹介～

六年生 総合「届けよう！私たちの心」①

六年生は、「なのはな会」のお弁当作りと配達を体験しています。作るときに、どんな心配りをして心をこめたお弁当となっているかを学び、これまで手紙や米作りを通して関わってきた「まごころ弁当」に、自分の手紙を添えて直接渡すことで、地域とのつながりを今まで以上に感じることができると考えています。また「まごころ弁当」には、菊ボランティア

アの方に手伝っていただいていた「まごころ菊」を添えて届けています。この「まごころ菊」は役場や公民館などにも飾っていただき、好評を得ています。苗の植え替えや摘心など、慣れない作業を教えていただきながら育てた菊が、大輪の花を咲かせ、地域の皆さんに喜ばれていることは、子供たちの大きな喜びとなっています。

六年生 総合

「届けよう！私たちの心」②

六年生は、高齢者グループホーム「あいりレー」とも交流をしています。子供たちは二、三人が一組となり、一年間、同じ方と継続して交流しています。写真入りの名刺を渡して何度も接する中で親しくなり、人と人とのつながりが深まることを願っています。子供たちは相手に喜んでいただけるためにはどのような遊びがよいのか考え、当日は相手の方の表情を見ながら丁寧に言葉をかけました。



▲あいりレー

全校によるベルマーク・アルミ缶集め

児童会の奉仕委員会では、ベルマーク・アルミ缶を集める活動を行っています。昨年度は、アルミ缶回収の収益を使って、グランドゴルフセットを購入し、「あいりレー」に寄贈しました。後日「あいりレー」の方から子供たちに感謝状をいただき、子供たちの充実感につながっています。今後も、全校での交流を続けたいと考えています。

子供たちは身近な地域の方とふれあい、優しさを学ばせていただいています。学んだ思いやりの心や命を大切にすることで、自分から積極的に人と関わり、互いに認め合って共に生きる地域の一員になりたいと思います。

気を付けたことは、聞こえるように大きな声でゆっくり話しました。やっぱり、めり絵は難しかったので、次回はもっと簡単な絵にしようと思いました。目線を合わせて話すことができました。折り紙を折るときも、隣から優しく話しかけて折り方を説明しました。相手が話しているときは、相づちを打ったり反応したりして、相手に聞いていることを伝えることができました。～六年生児童の感想～